

会報

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校
PTA連合会
電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351
http://www.hiroshima-koup.org

★ 広島県高P連

NO. 180



就任御挨拶

広島県高等学校PTA連合会

会長 藤原 みどり

平素よりPTA活動へご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

変化しました。

社会に目を向けると少子高齢化、不安定な経済、終わらない紛争や核

令和六年度広島県高等学校PTA連合会会長を拝命いたしました藤原みどりと申します。

への脅威、環境問題、自然災害など、私たちの生活に直接的な影響を及ぼしており、未来を担う子供たちにと

広島皆実高校PTA会長の後、県高P連副会長を三年間させていただ

っても大きな課題です。PTAとして子どもたちの未来を守るためにできることを考えていく

きました。今年度このような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

い、「PTAは本場に必要なのか、だろつか。」と、自信を失っている方がいらつしやいましたら、だれよりもお伝えしたいです。

これまでPTA活動にご尽力頂きました先輩方皆さまの功績を引き継

「PTAは必要」なのです。PTAは社会教育団体です。

のために、より一層尽力してまいります。

「保護者」「学校」「地域」の相互協力により子供たちの成長に貢献する活動です。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員の皆さんとお話する中で、昨今のPTA活動の難しさも聞いて

り越え、デジタル社会が急速化し、その処理能力が必至となり、急速に

コロナ禍を経験しての活動の継続

性や見直しといった課題、あるいは全国的な動きであるPTA未加入問題などがあります。

本連合会としても広島県教育委員会や校長会と連携を図り情報収集・情報共有に努めております。

困ったことがございましたらいつでもご相談ください。

さて、本連合会では、今年度も五つの委員会で活発に活動を実施しております。

研修委員会では七月二十七日(土)「第一回単P会長研修会」を開催しました。広島県教育委員会豊かな心と体育育成課の堂脇課長補佐から「少年を取り巻く犯罪情勢について」と題して講話をいただきました。

本連合会のホームページにも講話資料を掲載しています。

学びの場として各地区・各学校でHPにアクセスしご活用ください。

なお、第二回は来年一月十八日(土)に開催予定です。

進路対策委員会は八月十日(土)国公立大学進学説明会を広島県民文化センターで行いました。

県内六つの国公立大学と海上保安大学の先生方から各校の説明を、また、学校法人河合塾広島校の校舎

長様より複雑化する大学入試につ

て講演していただきました。

今年はおオンライン視聴もできるよ
う初めてハイブリットで開催しまし
た。

会場とオンラインで合わせて例年
の三倍、約千五百名の保護者・教職
員の皆さんからお申込みがありまし
た。

また、会員と情報共有し各地の活
動を知る機会となる大会としては、
全国高等学校PTA連合会大会、中
国・四国地区高等学校PTA連合会
大会、広島県高等学校PTA連合会
広島県大会があります。

今年度は七月十二日に中四国は高
知大会、八月二十二日、二十三日の
日程で全国は茨城大会が行われまし
た。

広島県からはそれぞれ百名弱の会
員の皆様にご参加いただき、交流し、
共に学びました。

多くの皆様にご参加いただきあり
がとうございました。

このご縁と学びを各地区、単Pで
共有し、さらに活動の場に生かして
いただければと考えています。

そして十一月九日(土) 広島北地
区主管で広島県大会が安佐北区民文
化センターで開催されます。

今回のテーマ、サブテーマは「つ

どい、つながり、共に学ぶ子ども
の可能性は無限大」です。

広島北地区実行委員会のみなさん
が熱心に企画しておられます。

どうぞ多くの会員の皆様のご参加
をお待ちしております。

健全育成委員会では全県一斉あい
さつ運動の実施、あいさつ運動ポス
ター、交通マナー標語の募集等活動
を行っております。

総務委員会では広島県教育委員会
との意見交換・要望書提出に向けて
取り組んでいます。

そして調査広報委員会委員会はこ
の会報を年三回発行するとともに先
進校視察を行います。

今後ともPTA会員のみなさま、
先生方、各教育機関のお力をお借り
しながら、未来を担う子供たちのた
めに活動してまいります。

重ねてのお願いになりますが、よ
り一層の御支援・御協力を賜ります
ようよろしくお願い申し上げます。



令和六年度 定例総会

とき 令和六年八月三日(月)
ところ 広島県民文化センター

令和六年度の県高P連定例総会を県内
の加盟校より被表彰者含む二百十七名の
会員の皆さまに御出席いただき開催いた
しました。

司会は、慣例により前年度総務委員長
の呉市立呉高等学校前PTA会長 濱咲
舞氏に行っていただきました。

開会のことばを、古田健治副会長が行
い、国歌斉唱の後、岡崎光治会長が挨拶
を行いました。

続いて、PTA活動に永年御尽力をい
ただいた会員

の皆様への感
謝状・記念品
贈呈式を行
いました。



次長から授与され、受賞者八名を代表し

まずはじめ
に広島県教育
委員会教育長
感謝状が、池
田克輝県教育

で、広島県立安芸高等学校PTA会長白
井和美氏が受領されました。広島県立安
芸高等学校は令和六年三月三十一日をも
つて閉校となりましたが、多くの卒業生
を輩出し、卒業生のよき思い出となるよ
うに、最後まで保護者や教職員の方々が
一生懸命に御尽力されました。

同様に、同日をもつて閉校となりまし
た広島県立呉昭和高等学校も、最後の日
まで一致団結して学校を盛り立てられた
ことは卒業生の励みになると思います。

両校には単位PTAのみならず、地区
連合会、県高P連と多大な御尽力をいた
だき感謝申し上げます。



次に、
県高P連
会長感謝
状が、岡
崎光治会
長から授
与され、
百四十二
名を代表
して広島
県立福山

明王台高等学校前PTA会長村上陽介氏
が受領されました。

被表彰者を代表し、広島県立三原高等
学校前PTA会長清親亮介氏が謝辞を述
べられました。

次に、御来賓の広島県副知事山根健嗣

氏、広島県議会副議長緒方直之氏、広島A会長伊東哲朗氏を選任しました。県教育委員会教育次長池田克輝氏、広島令和五年度会務事業報告が古田健治副市教育委員会総務部長石橋正啓氏、広島会長から行われ、提案どおり承認されま

県公立高等学校長協会会長山垣内雅彦氏から御祝辞を頂きました。御祝辞を頂いた五名の御来賓以外に、広島県PTA連合会会長橋本和博氏、広島監査委員の広島市立美鈴が丘高等学校PTA会長末政愛氏が報告し承認されまし

県公立高等学校教頭会会長畑中一志氏、広島高P連元会長小川嘉彦氏、吉岡久美子氏、北村正次氏に御臨席いただきました。高P連会長には、藤原みどり氏が選任さ



次に総会議事にうつり、議長に吉儀多加副会長を選出し、議事録署名人に、広島県立廿日市高等学校PTA会長波多野康彦氏、広島県立安古市高等学校PT

県高P連副会長五名には、広島県立西

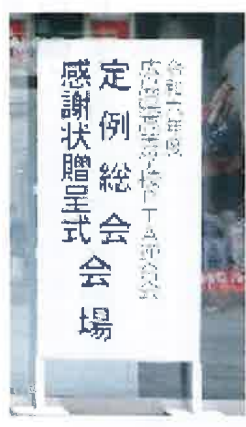
藤生美氏、広島県立呉三津田高等学校前PTA会長高橋理歌氏、広島県立松永高等学校PTA会長吉田誠氏が選任されました。また、あらかじめ各地区連合会から選

出された県高P連幹事、監査、常任委員については、提案どおり承認されました。多くの会員の方が参加され、親交を深

旧役員を代表して、退任された岡崎光治前会長の挨拶並びに、新役員を代表して藤原みどり会長が挨拶を行いました。令和六年度事業方針(案) 事業計画(案)について藤原みどり会長から提案し、承認されました。



続いて予算(案)を提案し、承認されました。次に、谷岡治事務局長から、定足数の報告を行い、常任委員会成立を報告しました。議長には吉田誠副会長を選出し、議事録署名人には広島県立大門高等学校坂口真二PTA会長、広島県立東城高等学校市岡大PTA会長を選出しました。



令和六年度 第一回常任委員会
とき 令和六年八月十八日(火)
ところ 広島YMCA
本館四階四〇二号室

議事にうつり、まず、顧問・参与の委
嘱について、人事案を提案、原案どおり
承認されました。

次に、その他として、谷岡 治事務局
長より、

- ① 第六十六回中国・四国地区高等学校
PTA連合会大会高知大会（七月十
二日 高知県立県民文化ホール）
- ② 第七十三回全国高等学校PTA連合
会大会茨城大会（八月二十二日〜二
十三日アダストリア水戸アリーナほ
か）

の二大会について説明がありました。

中四国大会高知大会については、昨年
度の岡山大会同様、参加申し込みの伸び
悩みがあり、中四国地区高等学校PTA
連合会の一員としては非多くの参加をお
願いしたいとの報告がありました。

議事終了後、各委員会に分かれて第一
回委員会協議を行いました。

各委員会では委員長、副委員長の互選
並びに本年度事業計画について協議いた
されました。

その後全体会で各委員会委員長より委
員長・副委員長の発表、一年間の委員会
活動について報告され、すべての議事が
滞りなく終了致しました。

各委員会の委員長・副委員長は次のと
おりです。
(県高P連事務局)

令和六年度 県高P連各委員会 委員長・副委員長一覧				
総務委員会	(委員長)	広島市立広島商業高等学校	PTA会長	庭谷美砂
	(副委員長)	広島県立大門高等学校	PTA会長	坂口真二
研修委員会	(委員長)	広島県立福山商業高等学校	PTA会長	高橋佳裕
	(副委員長)	広島県立賀茂高等学校	PTA会長	野田明美
調査広報委員会	(委員長)	広島県立広島工業高等学校	PTA会長	小川亜矢子
	(副委員長)	広島県立上下高等学校	PTA会長	北尾滋敏
健全育成委員会	(委員長)	広島県立黒瀬高等学校	PTA会長	丸木文香
	(副委員長)	広島県立福山葦陽高等学校	PTA会長	森原章文
進路対策委員会	(委員長)	広島県立広島観音高等学校	PTA会長	稲井修司
	(副委員長)	広島県立西条農業高等学校	PTA会長	工波絵理

第六十六回 中国・四国地区高等学校 PTA連合会大会高知大会

とき 令和六年七月十二日(金)
ところ 高知県立県民文化ホール

前日までの大雨で現地移動もどうなる
かと心配しましたが、当日は梅雨の中休
みのような天候の中、高知県立県民文化
ホールにおいて第六十六回中国・四国高
等学校PTA連合会大会高知大会が七月
十一日に開催されました。

今大会は「はばたけ若人よ 強度の大
空へ」～みんなあーが願いうげよを
テーマに千五百強の会場がいつぱいにな
るほどの盛会ぶりでした。来場者に配ら
れたもので目をひいたのは木で作られた
入場者証とそのネックストラップについ
ていた缶バッジでした。



入場者証は日本有数の森林を持つ高知
県の木を使っ
たものでカツ
オヤ鳴子、植
物学者の牧野
富太郎さんが
焼き目でデザ
インされてい
ました。缶バ
ッジは県内の
高校生が高知

をイメージするものをデザインし、その
中から最優秀賞・優秀賞に選ばれた五作
品が缶バッジとしてランダムに配られて
おり、近くに座った方と見比べたりして
楽しみながら開会を待ちました。

開会行事は都築靖正対回復実行委員長
の開会宣言で始まり、高知県立高知丸の
内高校 音楽科二年生の山中桂樹さんに
よる国歌独唱、一般社団法人全国高等学
校PTA連合会 田名部智之会長は体調
不良により欠席されたために伊福副会長
の代読での挨拶がありました。続いて高
知県教育委員会 長岡幹泰教育長の挨拶
がありました。高知県知事 濱田省司様、
高知市長 桑名龍吾様からの御祝辞をい
ただきました。国歌独唱をした山中さん
はとても凛とした声で堂々と歌う姿がと
ても印象的でした。



続いての講
演は、ジョン
マン語り部垣
内守男氏によ
る「夢を叶え
るジョンマン
スピリット」

「初めて世界を見た日本人 ジョン万次
郎」と題してご講演いただきました。ま
ずなぜジョンマンなんだろう？ジョン万
次郎じゃないのか？垣内先生があまりに
ジョン万次郎に対して愛着が湧きすぎて

のニックネームのようにされてのことか
しらす？と思いつながら講師紹介を聞き始め
ました。垣内先生は高知県南中高等学校
長時代に聖路加国際病院の日野原重明院
長をお招きして講演会を開催し「世界の
初めに命を使ったジョン万次郎」という
話を伺い、それを機に万次郎に関する出
出版物をほとんど読破し、万次郎の中に
みるスピリットを高知の子どもたちの教育
財産としたいという思いに至り、活動し
ておられるそうです。パンフレットのス
ーツ姿の写真をイメージしながら登壇さ
れた垣内先生の姿に目を丸くしました。
テンガロンハットにカウボーイ姿！なる
ほどジョン万次郎か！と。坂本龍馬の強
いイメージの陰で、同じ時代の方で海外
に行っていた人だよなというぼんやりし
た感じから入った私ですが、垣内先生の
滑らかな語り口調で「中濱万次郎」から
「ジョンマン」になり、またその人生の
展開、その時の学び、挑戦していく万次
郎の話に時間を忘れるほど引き込まれま
した。

講演の中で印象に残った言葉は「あき
らめない」「投げ出さない」「今やれる
事を精一杯考えて行動する」というジョ
ンマンスピリットです。また日ごろ使い
がちな否定的な3Dの言葉「でも（だけ
ど）」「だって」「どうせ」を前向きな
三Cの言葉「Chance」「Change」
「Challenge」に変えてとにかく一歩を

踏み出してみるという言葉が心に残りま
した。
素晴らしい講演をしていただきました
垣内先生に花束贈呈のあとは昼食です。
高知の食材を使った美味しいお弁当をい
ただきました。



昼食後の休憩にはロビーで午後から発
表する高校生や大会協力してくれた高校
夫がこらされた製品ばかりで、どのブ
ースにも多くの
来場者が購入
する列を作っ
ていました。
午後からは
高校生による
発表でした。
最初に高知
県立高知丸の
代表者がそれ
内高等学校音
楽科全員によ
る合唱、我々のなじみ深い歌もあり素晴
らしい混声合唱でした。次に高知県立高
知農業高校による「農」を学び、「農」
で学ぶと題して地域農業との共同研究・
開発と農福連携して障がいのある方との
共同作業を通しての学びの発表でした。
続いて高知県立大方高等学校の「誰ひと
り取り残さない防災をめざして」く犠牲
者ゼロの町で高校生ができること」とし

て高知県黒瀬町にある大方高校の生徒が
地域のひと協力して、もし南海トラフ地
震が起きたらという時に高校生ができる
こと、避難訓練だけでなく実践的な訓練、
新たな避難所の提案などを行っている
ことでした。自然の恵みを感じ自然
の驚異を理解して、人を守る力をつける
という言葉が印象的でした。

最後は高知県立高知商業高等学校のラ
オスでの学校建設事業三十年の歩みとジ
ブエで森林の豊かさを守る取り組みの発
表でした。どの学校も生徒が主体的に考
え、商品開発、研究、そして日ごろから
地域・社会に密着し、地域を盛り上げ、
また貢献する活動に取り組んでいること
に関心いたしました。
PTA研究協議として山口県、鳥取県、
高知県から選
ばれた三校の
代表者がそれ
ぞれのテーマ
に沿って発表
を行いました。



の活動の歩みの話でした。全ての生徒・
保護者が同じ時間を共有することは難し
い、必ずしも同じことをしなくてもよい
「できることをできるだけ」を合言葉に
活動していて、それくらいなら手伝える
か！と保護者に思ってもらえることから
の活動を心がけているそうです。

鳥取県立米子東高等学校ではハイブリ
ッド方式による進路講演会を行い自宅から
のオンライン参加を可能にし参加者は三
〇〇名を超えたそうです。また地域に根
差した魅力ある学校づくりとして自習室
としての学校図書館の土日祝日の開放、
その監督を地域の方に依頼しているとの
話がありました。
高知県立高知国際
中学校・高等学校の
発表では県の高等学
校再編振興計画によ
る中高一貫校となる
過程、そして二つの
高校の統合という中
でのPTAの取り組
みを聞きました。高
知西高等学校・高知
南高等学校の統合校
として歴史と文化を継承しつつ新たな挑
戦もしていくPTAの活動としては伝統
を引き継ぎながらもブラッシュアップし
てより活発に活動しているとありました。



「Challenge」に変えてとにかく一歩を

者ゼロの町で高校生ができること」とし

高校のPTA

また周りの方に常に感謝して活動しているという言葉もありました。

終わりに閉会行事として中四国PTA連合会の佐竹大樹会長の挨拶、次年度の開催地島根県高等学校PTA連合会、原完次会長の挨拶と島根県の魅力たっぷりのイメージ映像による紹介がありました。高知県のイメージキャラクターくろしおくんから、島根県のあつぱれくんとしみ姫へのカツオの引継ぎがあり会場も明るい笑顔に包まれました。

今回高知大会に参加させていただき、他県でのPTAの色々な活動、生徒の自



TA活動にも活かしていきたいと思います。

(調査広報委員 原田美香)

令和六年度
第一回単P会長研修会
とき 令和六年七月二十七日(土)
ところ 広島ガーデンパレス

令和六年度の第一回単P会長研修会が七月二十七日(土)十三時より広島ガーデンパレス錦の間において、広島県内のPTA会長等八十三名が参加して盛大に開催されました。



がPTAであり、みんなで取り組みができることがあると挨拶をされました。



きました。



開会行事

で広島県高等学校PTA連合会の藤原みどり会長は、先日の中四国高知大会に県内より百名以上の参加があったことに感謝

研修行事①では広島県高等学校PTA連合会の組織等の説明を藤原会長が行い、広島北地区連合会が担当する広島県大会への多くの参加を呼びかけられました。研修行事②では広島県教育委員会事務局学びの革新推進部豊かな心と身体育成課課長補佐の堂脇高洋様より『少年を取り巻く犯罪情勢について』という演題で一時間の講話をしていただきました。

高知大会に県内より百名以上の参加があったことに感謝

続いて来賓としてお越しくださいました広島県教育委員会事務局学びの革新推進部生涯学習課長(兼)乳幼児教育センター長の山内領二様は、青少年を巻き込んだ犯罪が増えていること、コミュニティスクールを通し社会に開かれた教育活動を推進していくこと、また広島県公立高等学校長協会副会長の國藤生美様はコ

ら学ぼうとする姿、学習の成果や部活動を知ることができ、とても有意義な時間となりました。大会開催にあたり、準備運営など御尽力くださった多くの方から感謝し、学んだことをこれからのP

を述べられ、PTA未加入問題にふれPTA活動の難しさと困ったときは事務局や私に相談してほしいと話されました。子供たちの一番近くで見守っているの



まず少年が巻き込まれる主な犯罪として多い順に四つの事例を説明されました。身近にある

○性被害（グルーミング）

これはわいせつ目的で子供たちと心理的結びつきを強め、手なずけて信頼させて性的な行為に及ぶものです。

○大麻

SNSを通じて売人と接触し、正しい知識のないまま容易に手にすることができ。罪悪感や危機感が少なく中高生を中心に広がっている。

○闇バイト（強盗、振り込め詐欺）

SNSを通じて緩やかな結びつきを作り、高収入をうたいバイトを募集する。本人を特定できない犯罪実行者で、行き場所や帰る場所のない子がSNSで集合しているため実態がつかみにくい。

○オーバードーズ

市販されている薬を決められている容量を超えて服用することで、幻覚や精神の興奮状態によって、不安やストレスから解放してくれると言われています。正しい情報が発信されず薬物依存症になる危険性があります。

『これらの特徴として』

今までの常識が通用しなくなっている SNSの拡がりにより犯罪の広域化、スピード化が進んでいる

特に薬物は低年齢化が顕著である 情報が氾濫して真実の見誤りがある

やる気があれば簡単に実行できる環境が規範意識（モラル）の低下 安易に目先の利益に飛びついてしまうことがあると説明されました。

『私たちの心構えとして』

思い込みで物事を見ない 子供たちの変化を見逃さない 地域の人の声を大切にす 自分の学校だったらどう対処するのか 考えておく

早く発見して早く対応する 初期対応が今後を左右する 子供たちを信用することは大切、しかし信用しすぎは逆効果 最後は「大きく捉えて小さく」まとめ

関係機関との垣根を越えた連携をする 普段からの危機管理が大切だと言われました。 『また勘違いしてはいけないこととして』

被害者も被疑者も男女を問わない 行為をするのは男性で被害を受けるのが女性だと思ひ込んでいないか 男性同士もあるし、女性同士もある 思ひ込むと見えるものも見えなくなる 指摘がありました。

『最後に堂脇様より皆様に向けて』 人ごとと考えず、自分ごととして周りを見ていくこと 見て見ぬふりをしないでほしい 何気ない声掛けが見てもらえている感覚につながる

子供と普段からコミュニケーションをとっておくことが話しやすくなるし、変化に気づきやすいのではないかといい話をされました。

質問タイムに府中東高校の佐野会長が「手は離しても、目は離すな」といわれた言葉が強く印象に残った講話でもありました。

情報が氾濫する現在、正しい情報も間違った情報も存在する環境の中で、私たちも正しい知識を身につけて、常にアンテナを張り子供たちを見守ることが大切だと感じました。わずかな変化も見逃さないように心を配って行きましよう。

研修行事③では六分散会に分かれての研修を県高P連副会長、研修委員を中心にを行いました。

私の参加した第一分散会ではテーマは特に決めず会長になった経緯、PTAの是非論、会長としてのご苦労、役員決めの難しさ、日頃のかかえている問題などをお互いが共有し、大変有意義な分散会となりました。

研修行事終了後は所を孔雀・朱鷺の間



（調査広報副委員長 北尾 滋敏）

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

- 1. 団体割引25%適用・損害率による割引25%適用** (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。)
- 2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償**
- 3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償**
○携行品(学校管理下動産補償特約)の補償は学校管理下中のみです。
- 4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料で各種医療に関してご相談いただけます。**
※詳細はパンフレットをご確認下さい。
※補償期間(保険期間)は1年となります。(令和6年4月25日午後4時より令和7年4月25日午後4時まで1年間)
※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。
※スマホ・PCから簡単に加入申込みができます。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容	W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ	
個人賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	国内1事故無制限・国外1事故1億円限度					
弁護士費用特約 (人格権侵害等トラブル対策費用補償特約)	国内1事故1億5千万円限度・国外1事故1億円限度					
病気入院 (1日あたり)	5,500円	5,200円	5,000円	—	—	
傷	死亡・後遺障害	441万円	397万円	335万円	302万円	222万円
	入院 (1日あたり)	6,000円	5,500円	4,500円	4,000円	3,200円
害	手術	上記入院日額の10倍(入院中の手術)、5倍(入院中以外の手術)				
	通院 (1日あたり)	3,300円	3,300円	2,300円	2,300円	1,200円
	地震・噴火・津波	○	—	—	—	—
	熱中症	○	○	○	○	○
細菌性食中毒	○	○	○	○	○	
携行品(学校管理下動産補償)	1年で20万円限度(自己負担額:1事故3,000円)		1年で10万円限度(自己負担額:1事故3,000円)			
被害事故補償	1事故3,000万円	1事故2,000万円	1事故1,000万円			
育英費用	200万円	150万円	100万円	100万円	50万円	
地震・噴火・津波	○	—	—	—	—	
保険料	16,650円	14,650円	11,650円	9,650円	6,650円	
制度維持費	350円					
掛金(1年分)	17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円	

○携行品の損害保険金は1年間でW3、W2タイプは20万円限度。W1、A、Bタイプは10万円が限度となります。
(注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(W3、W2タイプは20万円限度;W1、A、Bタイプは10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。
※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。
※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。
※病気入院(入院医療保険金)について:新規加入時の支払責任の開始日より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東京海上日動パートナーズ中国四国本店 TEL:0120-018-217 令和6年3月作成 <22TC-102378〉

〈引受幹事保険会社〉



東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

〈共同引受保険会社〉



AIG損害保険株式会社 広島支店
広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。
〈引受保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社(幹事保険会社) AIG損害保険株式会社